

伊賀市地域公共交通計画について ～上野地域～



1. 地域公共交通計画について

伊賀市では、鉄道やバスなどの公共交通が、市民の皆さんの通勤・通学、買い物、通院など、日々の生活を支える大切な移動手段となっています。

しかし、人口減少や高齢化が進む中で、**公共交通を利用する人が少なくなり、運行の維持が難しく**なってきました。一方で、**自家用車を使えない高齢者や子どもたちにとっては、公共交通がなくなると生活に大きな影響**が出てしまいます。

また、「住みよいまち」とすることによる人口流出防止や「にぎわいづくり」の面からも、公共交通の見直しや再構築が求められています。

こうした中で、伊賀市では、既存交通サービスを最大限活用し、市民の移動ニーズに応じた、持続可能な公共交通サービスの確保に向け「次期伊賀市地域公共交通計画」を策定中です。

これに際し、伊賀市では特に地域による**特性が大きく異なるため、地域の実情に応じた交通手段の展開**が必要と考えています。

本会議では、地域の実情をお聞かせいただくことを目的としております。

本日は、次期伊賀市地域公共交通計画の検討していくにあたり、アンケート調査にて把握した**上野地域における公共交通の現状**などについて、再度確認していただきたいと思えます。

2. アンケートの概要

計画の策定にあたり、今秋（9～10月）に以下の3種類のアンケートを実施しました。

①市民アンケート(実施済み)

市民の移動実態およびニーズの変化と既存公共交通サービスとのギャップを把握

対象	伊賀市内の住民計5,000世帯 ※対象世帯は住民基本台帳からの無作為抽出
目的	市民の移動実態や、公共交通への要望の把握
時期	2025年9月16日（火） ～2025年9月30日（火）
方法	WEBアンケート形式 ・WEBアンケートのQRコードを記載したハガキの郵送配布 ※別途、市HPやeモニターを活用
回収数	798票

②高校生アンケート(実施済み)

公共交通の利用が多い高校生の公共交通の利用実態や利用促進に向けた課題の把握

対象	伊賀市内の高校に通う1、2年生
目的	高校生の移動実態や、公共交通への要望の把握
時期	2025年9月16日（火） ～2025年10月7日（火）
方法	WEBアンケート形式 ・WEBアンケートのQRコードを記載した案内文を配布
回収数	208票

③利用者アンケート(実施済み)

日頃から公共交通を利用している利用者の利用実態や意向の把握

対象	伊賀市内の公共交通利用者 ※市外からの来訪客も含む
目的	利用者の利用実態や意向の把握
時期	■配布日 2025年10月23日（木） 10月26日（日） ■WEB・ハガキ回収期限 2025年11月14日（金）まで
方法	WEB・ハガキ併用アンケートの聞き取り、配布 場所：伊賀神戸駅、伊賀上野駅、上野市駅
回収数	361票※11月上旬時点

3. アンケートの結果(概要)

【地域概況】

- 上野地域は、市全体に比べて、「300m以内に駅、またはバス停がある人」の割合がやや高く（P.6）、**公共交通の利便性が高い地域**である。

【公共交通に関する意識】

- 現在の**公共交通利用者の割合がやや高い地域**である。（P.7）
- 免許返納意向（P.5）はやや低く、将来の公共交通の利用意向（P.11、P.22）も市全体と同等以下であり、**公共交通の将来の利用意識が比較的低い地域**である。

【移動の特徴】

- 移動手段として、市全体に比べて**自動車（自分で運転）**や**家族等による送迎、徒歩**の割合が多い。一方で、**鉄道、バス**の利用は少ない。（P.10、P.14、P.16、P.20）
- お出かけの目的地は**上野地域が高い**。（P.8、P.15）
- 上野地域は、市全体に比べて、**通勤**を目的としている割合が高い。（P.9）。

3. アンケートの結果(概要)

【公共交通に求めるサービス】 (P.13、P.19)

- 「安価で移動できる地域主体の交通手段」や「自宅近くで乗降できる予約型の運行タクシー」については、市全体と同様に関心が高く、高校生については、「自宅近くで乗降できる予約型の運行タクシー」の項目で市全体に比べて関心が低い。
- 上野地域は、「運転手無しの自動運転」について、市全体よりも関心が高い傾向にある。「鉄道や路線バスの定期券購入補助制度」は市全体に比べて関心が低い。

【今後の利用促進に必要な事項】 (P.12、P.18、P.21)

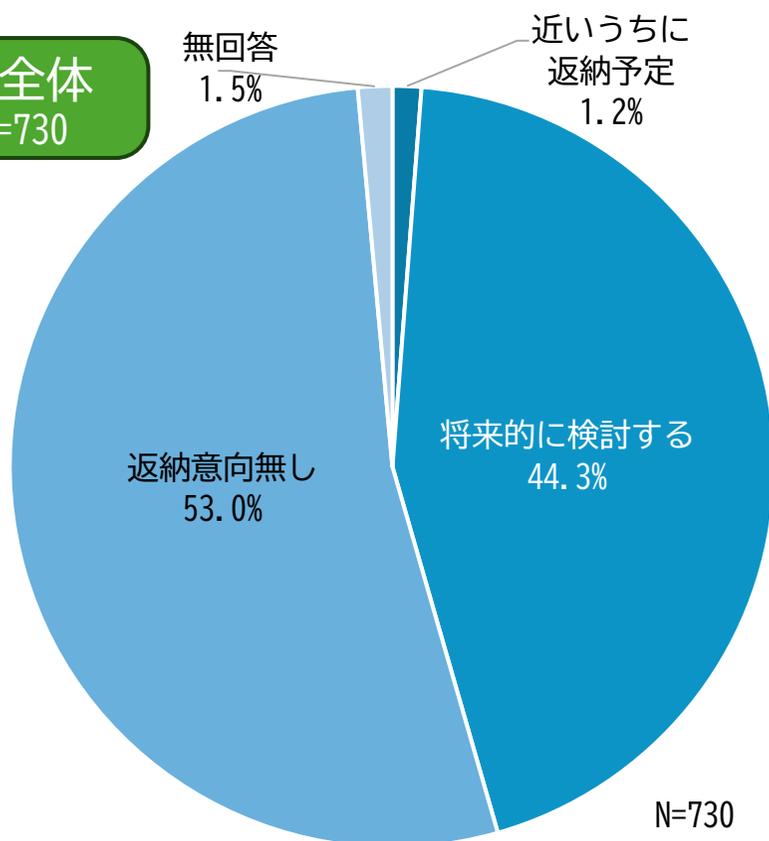
- 上野地域では、「バス路線の新設や運行本数の増便」や「学生や高齢者を対象とした運賃の無料化や補助」を、重要としている。
- 高校生アンケートでは、「鉄道の運行本数の増便」や「既存のバスルートの見直し」、「地域のニーズに応じた地域主体の交通の充実」について市全体よりも重視している。
- 利用者アンケートでは、「地域主体の住民参加型ライドシェア」や「デマンド運行」の関心が高い。

3. アンケートの結果(市民アンケート)

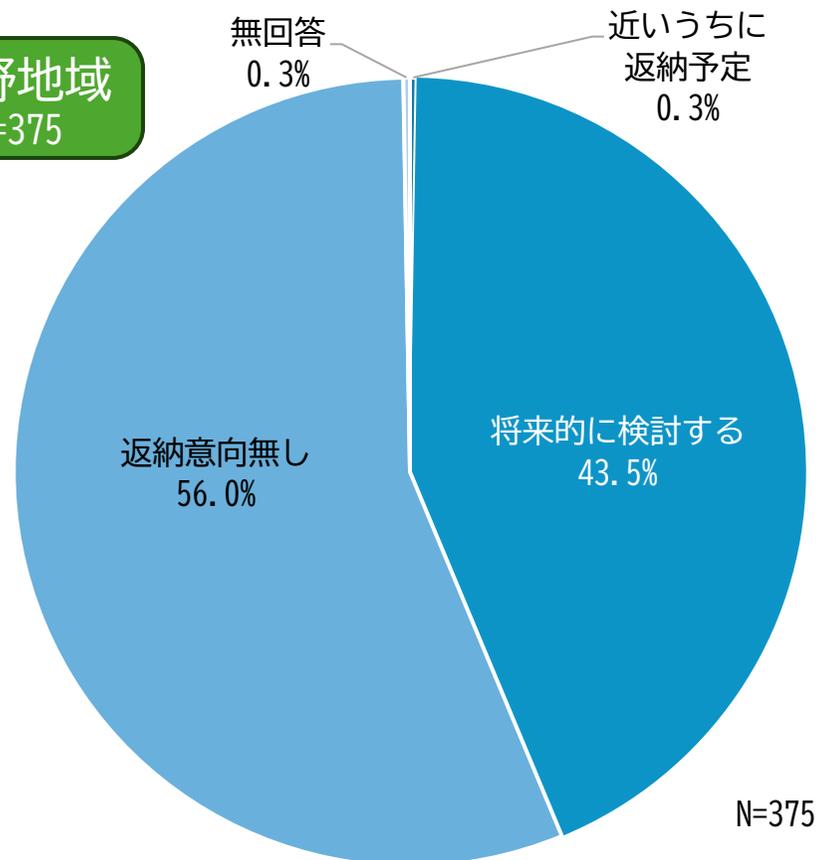
【市民アンケート】運転免許の返納予定

上野地域は、市全体と概ね同様の傾向を示している。

市全体
N=730



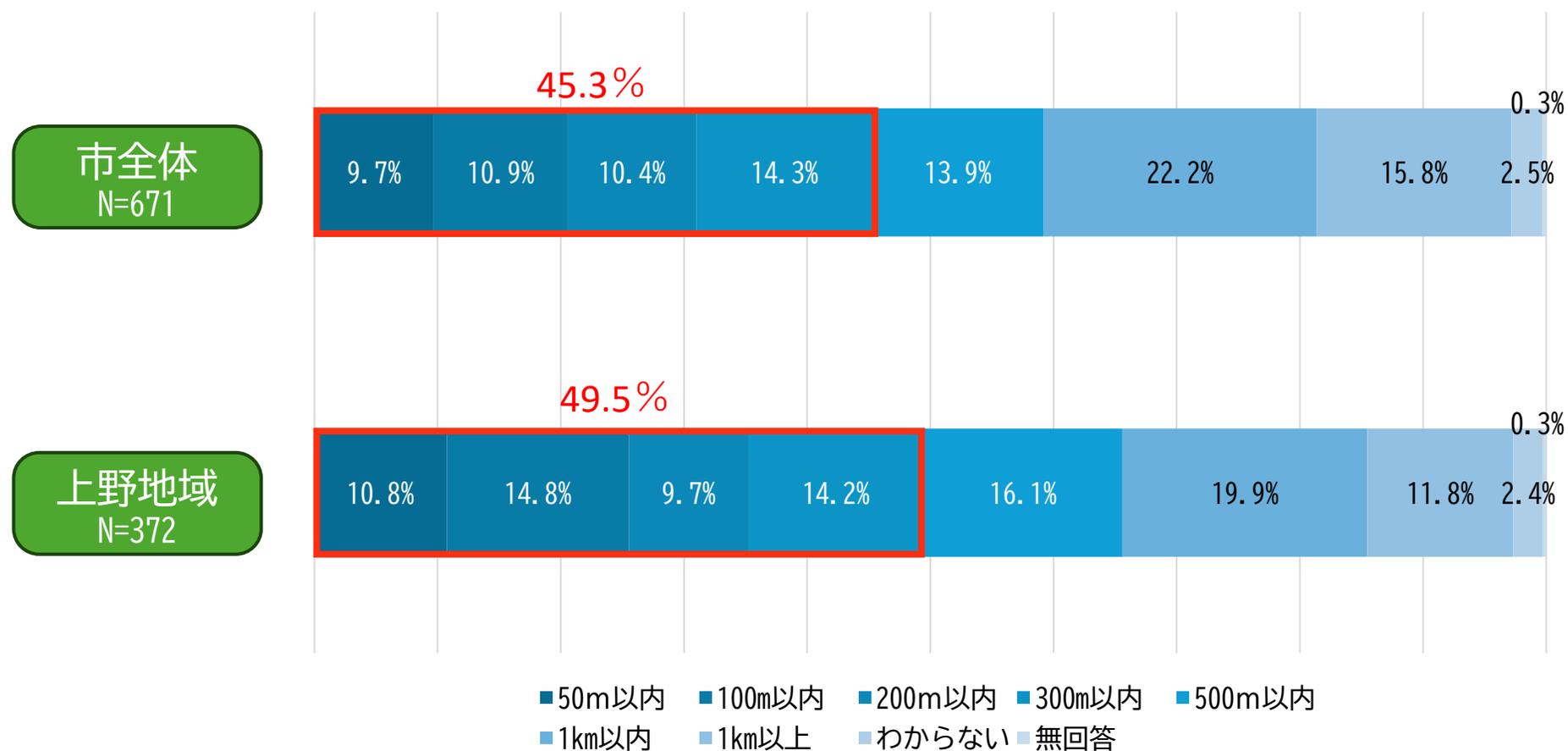
上野地域
N=375



3. アンケートの結果(市民アンケート)

【市民アンケート】自宅からの最寄りの駅またはバス停までのうち、近い方までのおよその距離

上野地域は、市全体にくらべて「**300m以内に駅、またはバス停がある人**」の割合がやや高く、他地域と比較し、交通の利便性がやや高い。

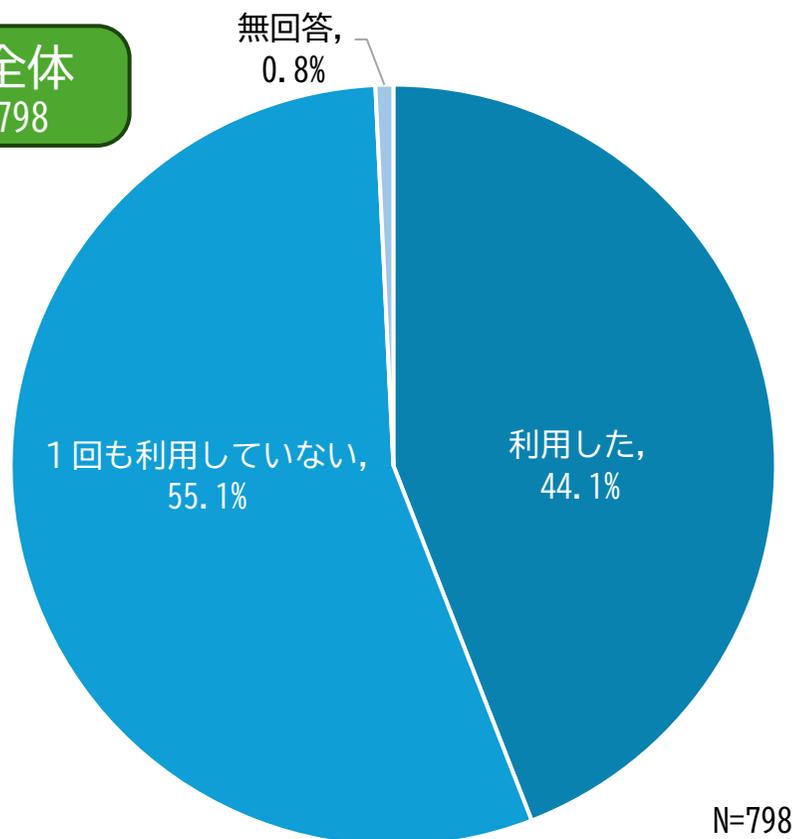


3. アンケートの結果(市民アンケート)

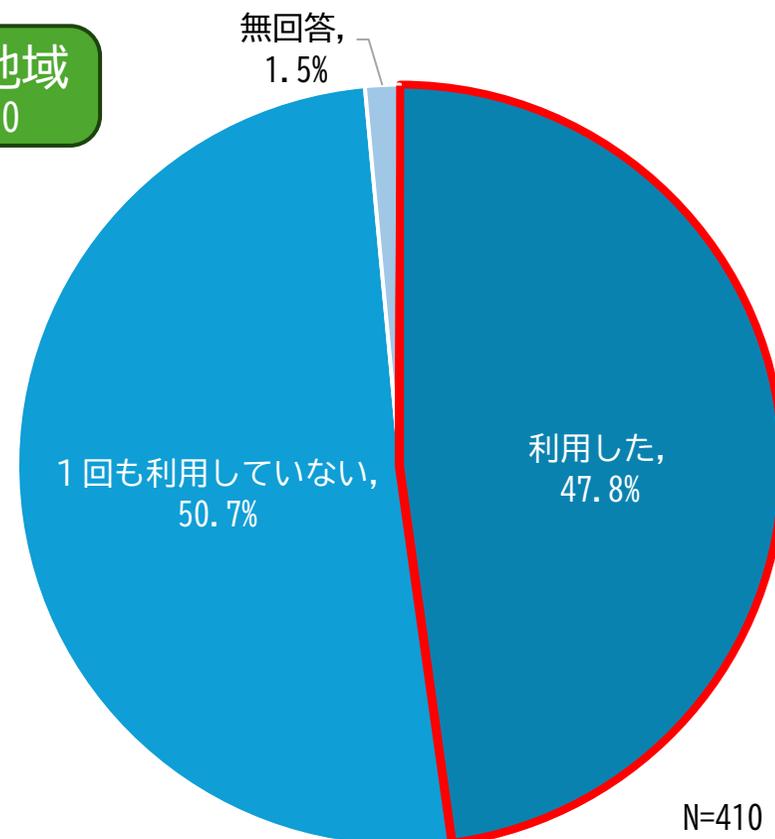
【市民アンケート】この1年間に市内の公共交通を利用した状況

上野地域は、市全体にくらべて、公共交通の利用率がやや高い。

市全体
N=798



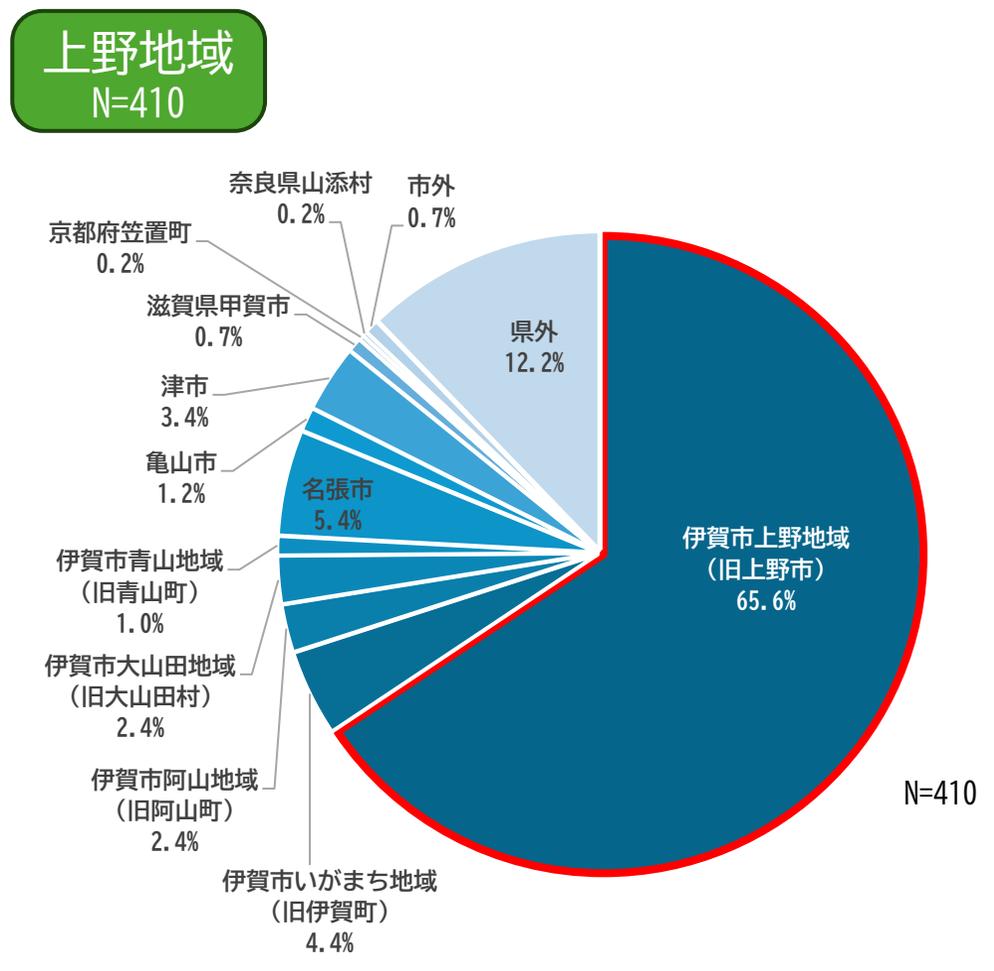
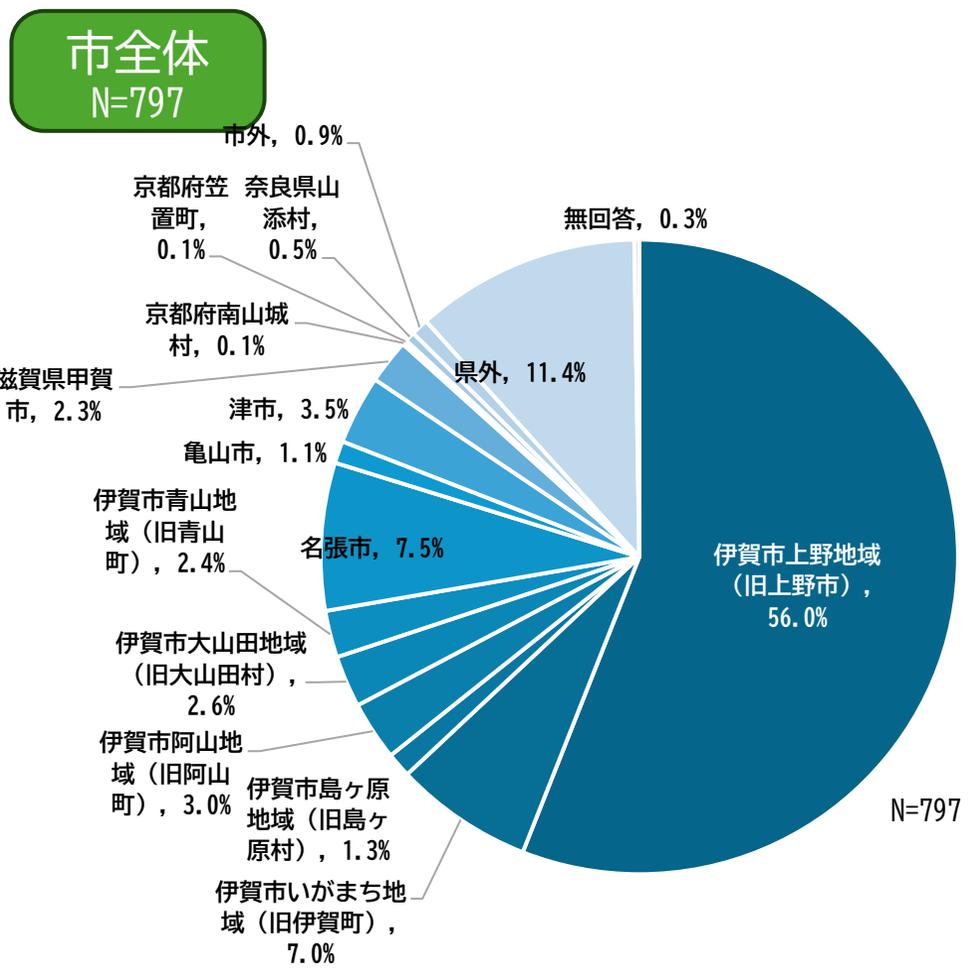
上野地域
N=410



3. アンケートの結果(市民アンケート)

【市民アンケート】】【おでかけ①】よくお出かけする目的地

上野地域は、市全体に比べて、**上野地域内**を目的地とする割合が高い。

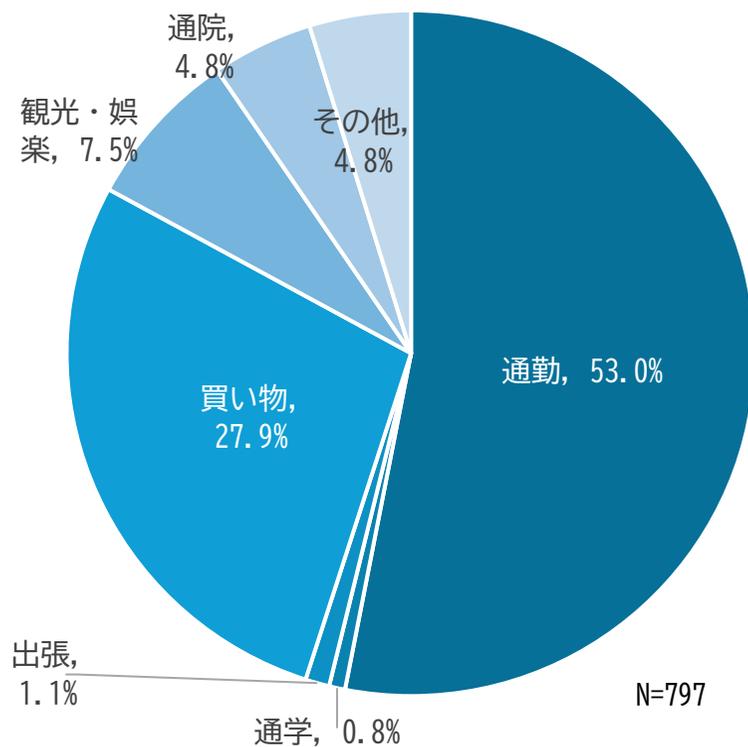


3. アンケートの結果(市民アンケート)

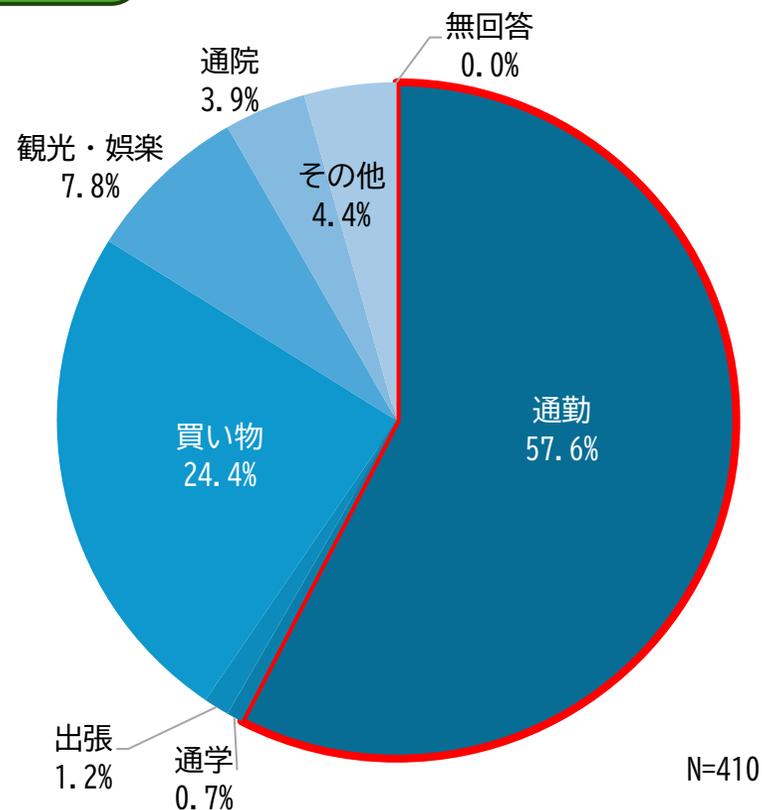
【市民アンケート】 【おでかけ①】よくお出かけする目的

上野地域は、市全体に比べて、**通勤**を目的としている割合がやや高い。

市全体
N=797



上野地域
N=410



3. アンケートの結果(市民アンケート)

【市民アンケート】【おでかけ①】その目的で利用する交通手段(全て)

上野地域は、市全体と同様に、**自動車での移動割合が高い**。鉄道の利用は、市全体と比較し**JRは若干少なく、近鉄と伊賀鉄道が若干多い**。

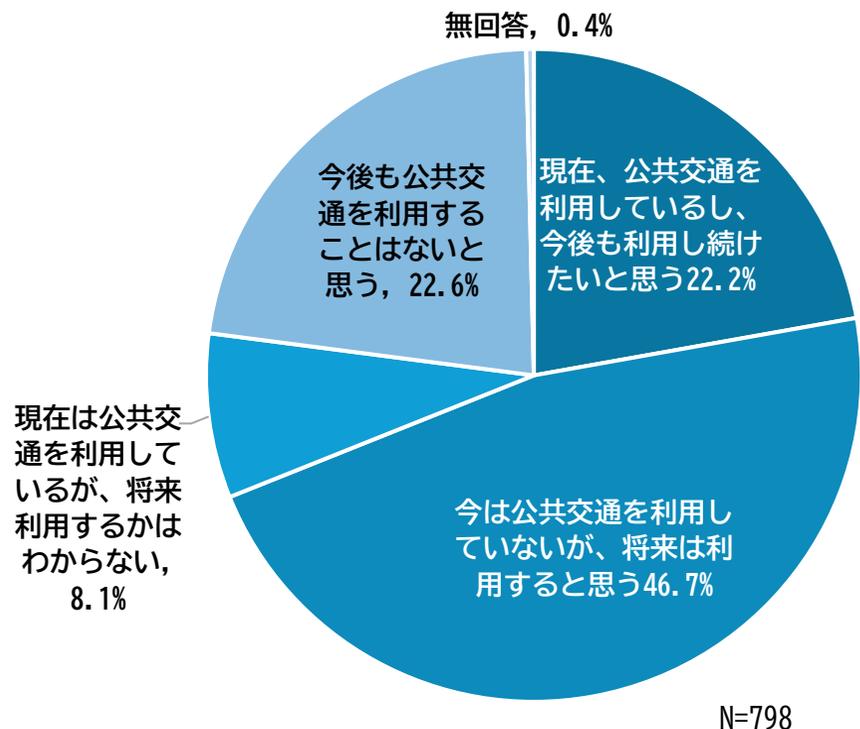
	市全体 N=797	上野地域 N=410
鉄道(近鉄)	12.4%	13.4%
鉄道(JR草津線)	3.4%	2.4%
鉄道(JR関西本線)	8.8%	7.1%
鉄道(伊賀鉄道)	8.4%	11.0%
バス(三重交通)	6.1%	4.6%
行政サービス巡回車・比自岐コスモス号	0.6%	0.2%
青山行政バス	0.4%	0.0%
にんまるバス	2.0%	2.4%
地域運行バス(かんべ北斗号)・その他バス(はたっこ号)・山添村村民バス	0.5%	0.7%
家族等による送迎	10.3%	11.7%
企業の送迎バス	0.0%	0.0%
買い物バス(スーパー・社協など)	0.9%	0.2%
病院の送迎バス(診療所、デイサービスなど)	1.3%	1.5%
自動車(自分で運転)	77.9%	78.8%
タクシー	1.6%	2.2%
介護タクシー(福祉有償運送)	0.5%	0.5%
原付・バイク	2.0%	2.7%
自転車	4.8%	4.9%
徒歩	6.9%	7.8%
その他	0.6%	0.7%

3. アンケートの結果(市民アンケート)

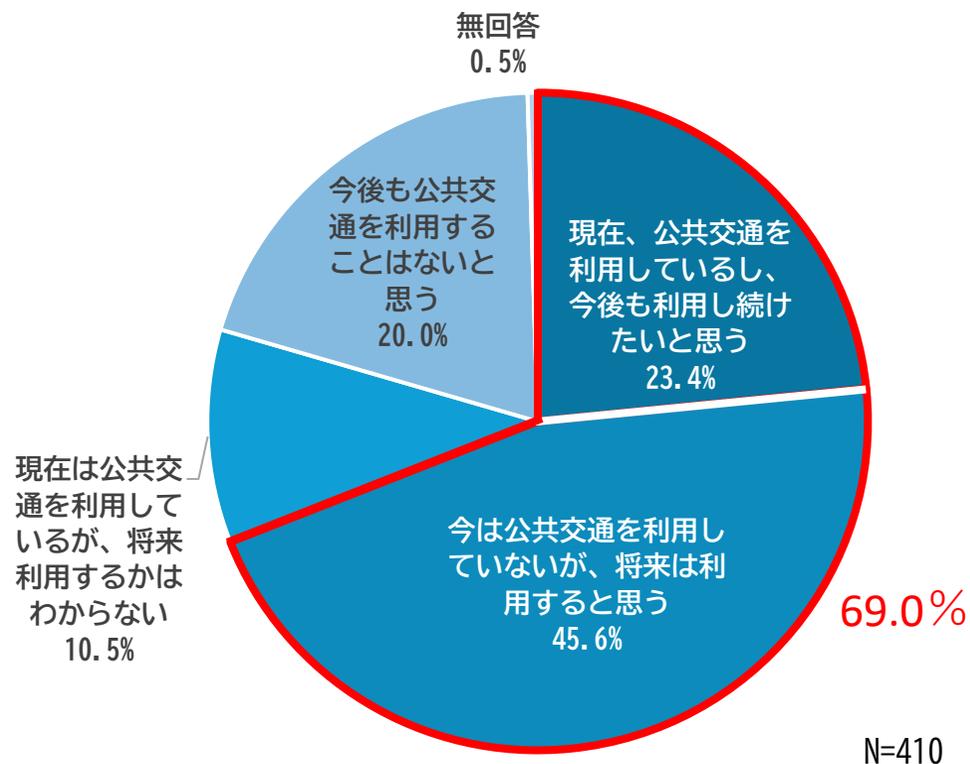
【市民アンケート】今後の公共交通の利用

上野地域は、市全体にくらべて、「**将来公共交通を利用する**」と回答した割合はほぼ同じで、「**将来利用する**」と回答した割合は約7割である。

市全体
N=798



上野地域
N=410



3. アンケートの結果(市民アンケート)

【市民アンケート】市内の公共交通利用促進に向けて重視すべき点(3つまで)

- ・上野地域は、利用促進に向けた重視すべき点について、「**バス路線の新設や運行本数の増便**」が最も高い。
- ・市全体と比較して、「**バス路線の統廃合や増便又は減便**」が高く、「**駅・バス停のバリアフリー化**」「**自家用車を活用したライドシェアの展開**」の項目が低い。

—市全体と比較して高い —市全体と比較して低い

市全体
N=795

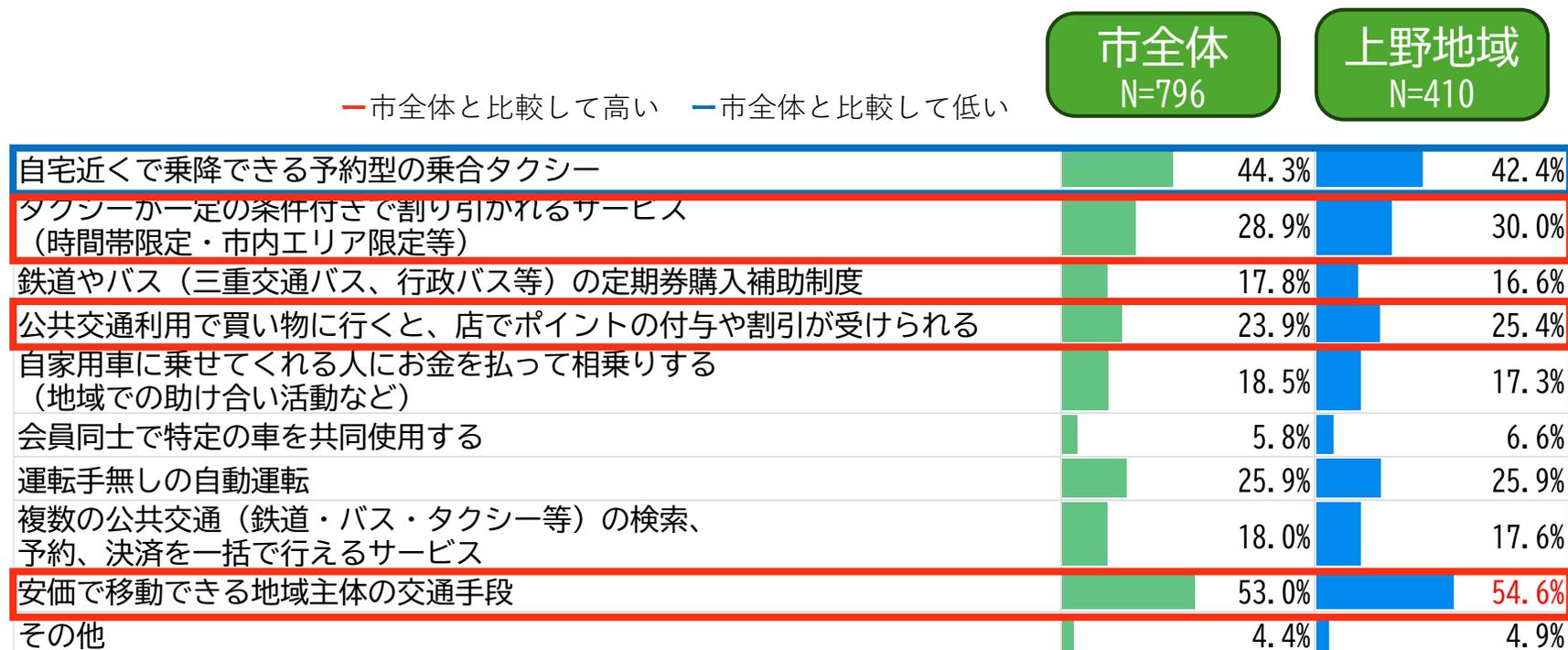
上野地域
N=410

	市全体 N=795	上野地域 N=410
バス路線の新設や運行本数の増便	42.4%	40.0%
利用状況に応じたバス路線の統廃合や運行本数の増便又は減便(集中と選択)	22.8%	27.1%
鉄道の運行本数の増便	29.1%	28.3%
新たな決済システムの導入(QRコード、クレジットカードのタッチ決済など)	10.3%	12.9%
駅・バス停のバリアフリー化	10.1%	6.6%
学生や高齢者を対象とした運賃の無料化や補助	35.2%	34.1%
自家用車を活用したライドシェアの展開 (地域の人同士が車を乗り合い、みんなで移動を助け合う仕組み)	16.7%	13.4%
先端技術の導入(自動運転バスなど)	11.8%	11.7%
環境に配慮した車両への転換(EVバス、水素バスなど)	2.6%	2.2%
小型電動モビリティの促進 (電動キックボード、1~2人乗り程度の小型車両など)	4.8%	4.6%
新たな交通事業者の参入促進	7.4%	7.3%
乗務員の確保・人材育成	9.7%	11.0%
地域のニーズに応じた地域主体の交通の充実	32.3%	32.0%
その他	5.3%	4.9%

3. アンケートの結果(市民アンケート)

【市民アンケート】公共交通の改善に向けたサービスについて、関心があるもの(全て)

- ・「安価で移動できる地域主体の交通手段」について、関心が最も高く、市全体と比較してもやや高い。
- ・「公共交通利用で買い物に行くと、店でポイントの付与や割引が受けられる」や「タクシ-の条件付き割引サービス」は、市全体と比較して高く、「予約型の乗合タクシ-」は、市全体と比較して低い。



3. アンケートの結果(高校生アンケート)

【高校生アンケート】晴天時の通学の交通手段

- ・市全体と比較して、**徒歩**の割合が多く、**家族による送迎**や**自転車**の割合も多い。
- ・**全ての鉄道や、バス**の利用が少なく、**近鉄やJR草津線、伊賀鉄道**は利用者は見られなかった。また、**スクールバス**の利用者もいなかった。

※上野地域の回答者数が21名であることに留意。

—市全体と比較して高い —市全体と比較して低い

市全体
N=208

上野地域
N=21

交通手段	市全体 (N=208)	上野地域 (N=21)
鉄道 (近鉄)	16.3%	0.0%
鉄道 (JR草津線)	0.5%	0.0%
鉄道 (JR関西本線)	23.1%	4.8%
鉄道 (伊賀鉄道)	23.1%	0.0%
バス (三重交通)	31.7%	23.8%
行政サービス巡回車・比自岐コスモス号	0.0%	0.0%
青山行政バス	0.0%	0.0%
にんまるバス	0.0%	0.0%
地域運行バス (かんべ北斗号) その他バス (はたっこ号)・山添村村民バス	0.0%	0.0%
スクールバス	12.0%	0.0%
家族等による送迎	40.4%	42.9%
タクシー	0.0%	0.0%
原付	0.5%	0.0%
自転車	20.2%	23.8%
徒歩	27.9%	42.9%
その他	0.0%	0.0%

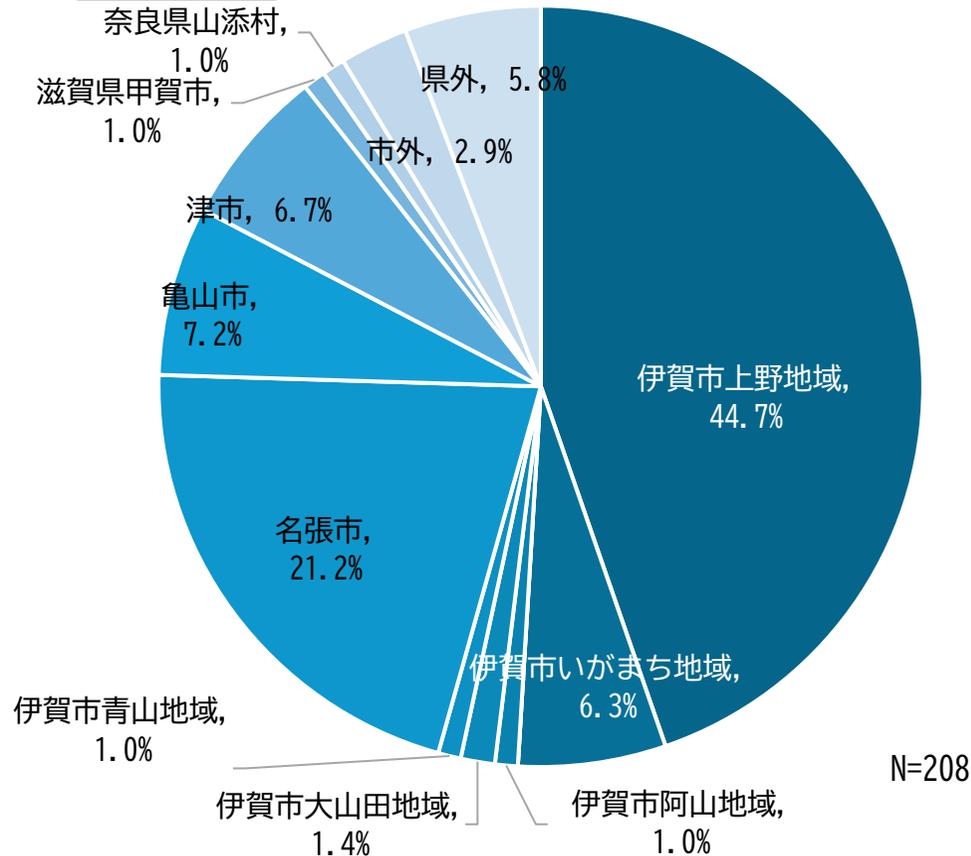
3. アンケートの結果(高校生アンケート)

【高校生アンケート】休日の外出の目的地

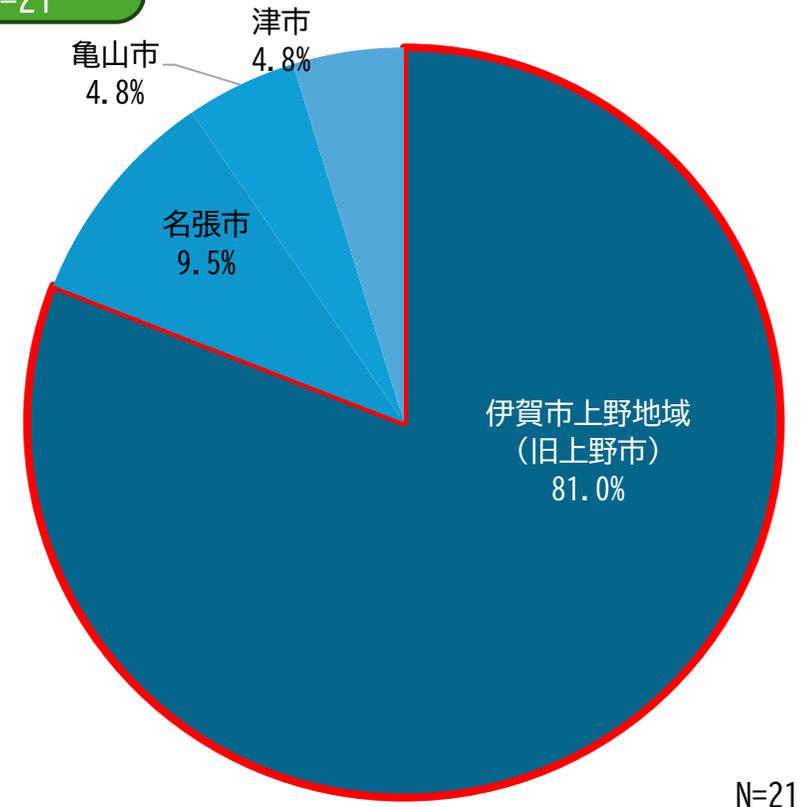
- ・ 休日は、市全体と比較して、**上野地域**に出かける割合が高く、約8割であった。

※上野地域の回答者数が21名であることに留意。

市全体
N=208



上野地域
N=21



3. アンケートの結果(高校生アンケート)

【高校生アンケート】休日の外出の移動手段(全て)

- ・市全体と比べて、**家族等による送迎**の割合が低い。
- ・市全体と比べて、**自転車**や**徒歩**、**にんまるバス**の割合が高く、**近鉄**や**バス(三重交通)**、**家族による送迎**の割合が低い。

※上野地域の回答者数が21名であることに留意。

—市全体と比較して高い —市全体と比較して低い

市全体
N=208

上野地域
N=21

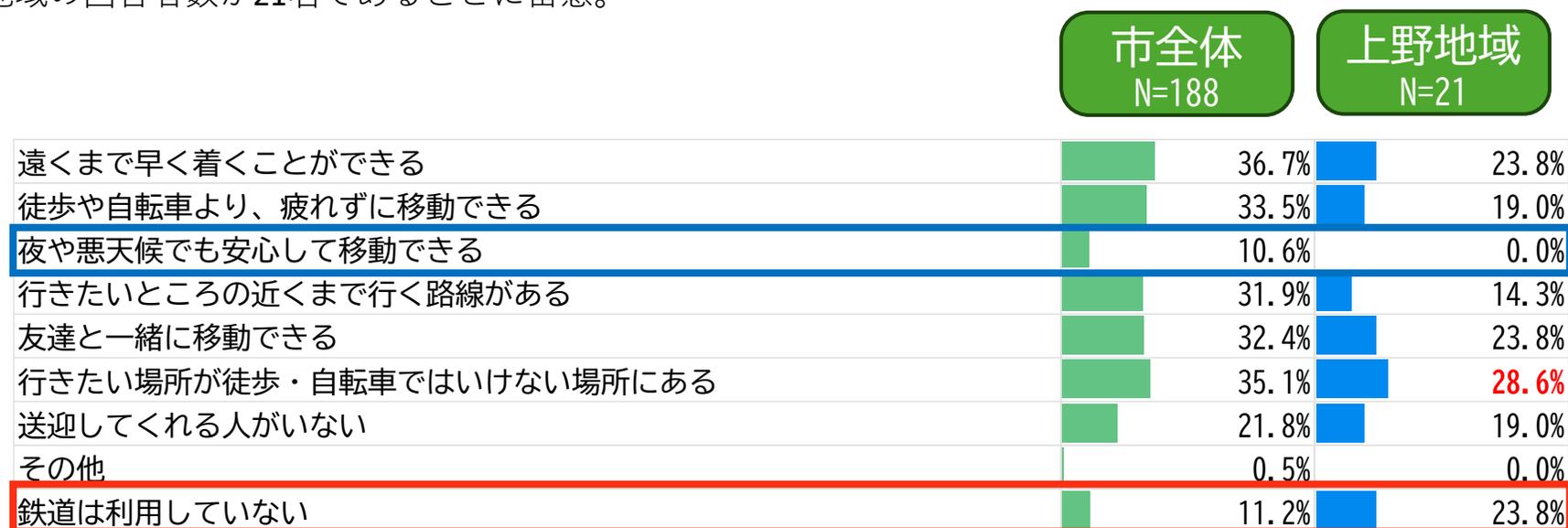
移動手段	市全体 (N=208)	上野地域 (N=21)
鉄道 (近鉄)	18.3%	14.3%
鉄道 (JR草津線)	3.8%	4.8%
鉄道 (JR関西本線)	13.5%	14.3%
鉄道 (伊賀鉄道)	16.8%	14.3%
バス (三重交通)	18.8%	9.5%
行政サービス巡回車・比自岐コスモス号	0.0%	0.0%
青山行政バス	0.0%	0.0%
にんまるバス	0.5%	4.8%
地域運行バス (かんべ北斗号)・その他バス (はたっこ号)・山添村村民バス	0.0%	0.0%
家族等による送迎	58.7%	47.6%
タクシー	1.0%	0.0%
原付	1.0%	0.0%
自転車	16.8%	23.8%
徒歩	20.2%	33.3%
その他	2.4%	4.8%

3. アンケートの結果(高校生アンケート)

【高校生アンケート】鉄道(伊賀線、JR、近鉄)を利用する理由

- ・ 鉄道を利用する理由は、市全体と概ね同じ傾向である。
- ・ 市全体に比べて、**鉄道を利用していない割合が高い**。そのため全体的にいずれの理由も市全体と比較すると少ない。
- ・ 「夜や悪天候でも安心して移動できる」と回答した人はいない。

※上野地域の回答者数が21名であることに留意。

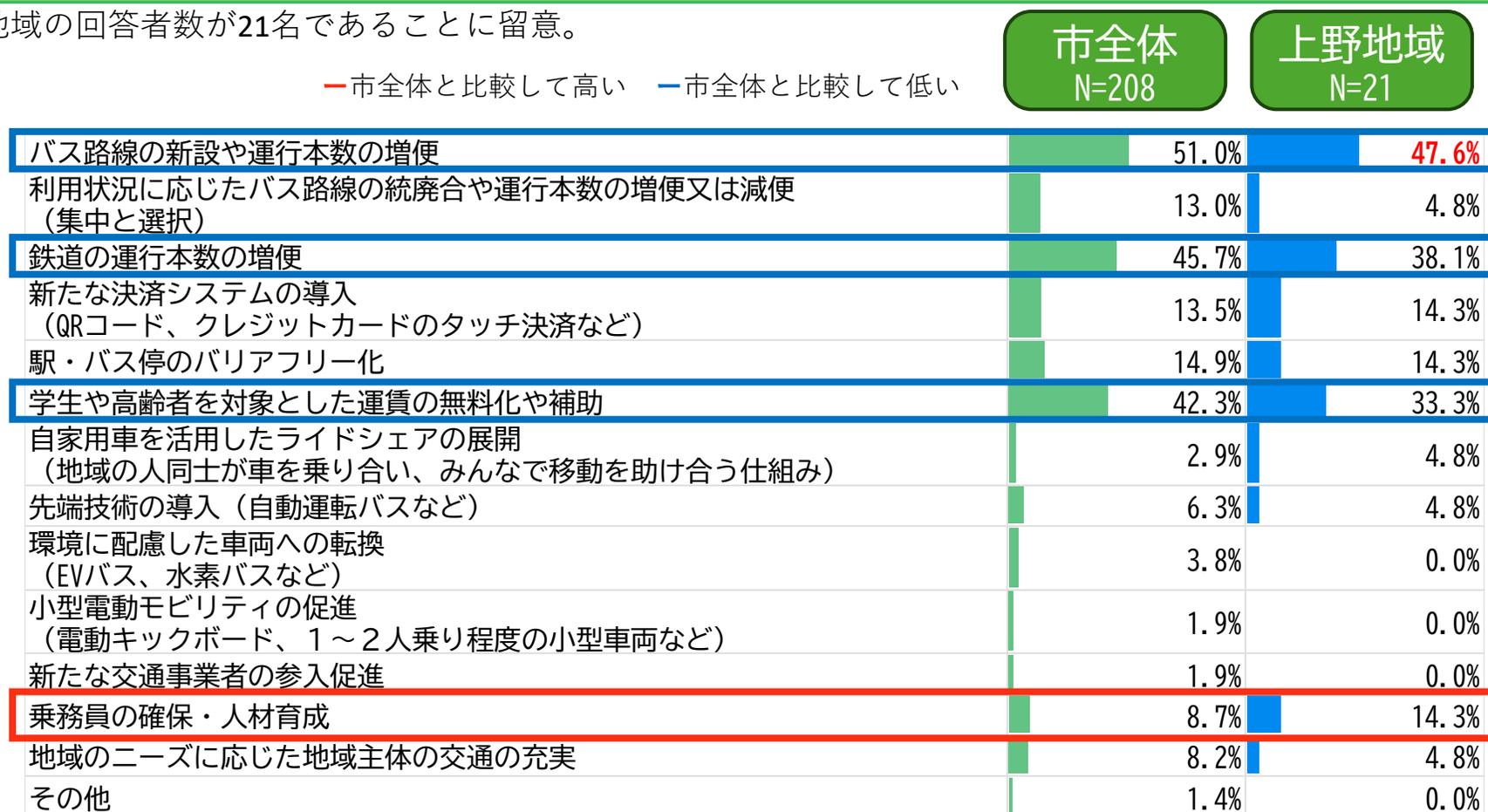


3. アンケートの結果(高校生アンケート)

【高校生アンケート】市内の公共交通利用促進に向けて重視すべき点(3つまで)

- ・ 上野地域は、市全体と概ね同じ傾向である。
- ・ 公共交通の利用促進に向けて、「**バス路線の新設や運行本数の増便**」や「**鉄道の運行本数の増便**」「**運賃の無料化や補助**」を重視している回答が多いが市全体と比べて低い。
- ・ 市全体とくらべて「**乗務員の確保・人材育成**」を重視している割合が高い。

※上野地域の回答者数が21名であることに留意。



3. アンケートの結果(高校生アンケート)

【高校生アンケート】公共交通の改善に向けた、サービスについて関心があるもの(全て)

- ・上野地域では、市全体よりも「**運転手無しの自動運転**」について関心が高い。
- ・市全体にくらべて「**自宅近くで乗降できる予約型の乗合タクシー**」や「**タクシーの条件付き割引サービス**」「**定期券購入補助制度**」サービスへの関心が低い。

※上野地域の回答者数が21名であることに留意。

—市全体と比較して高い —市全体と比較して低い

市全体
N=208

上野地域
N=21

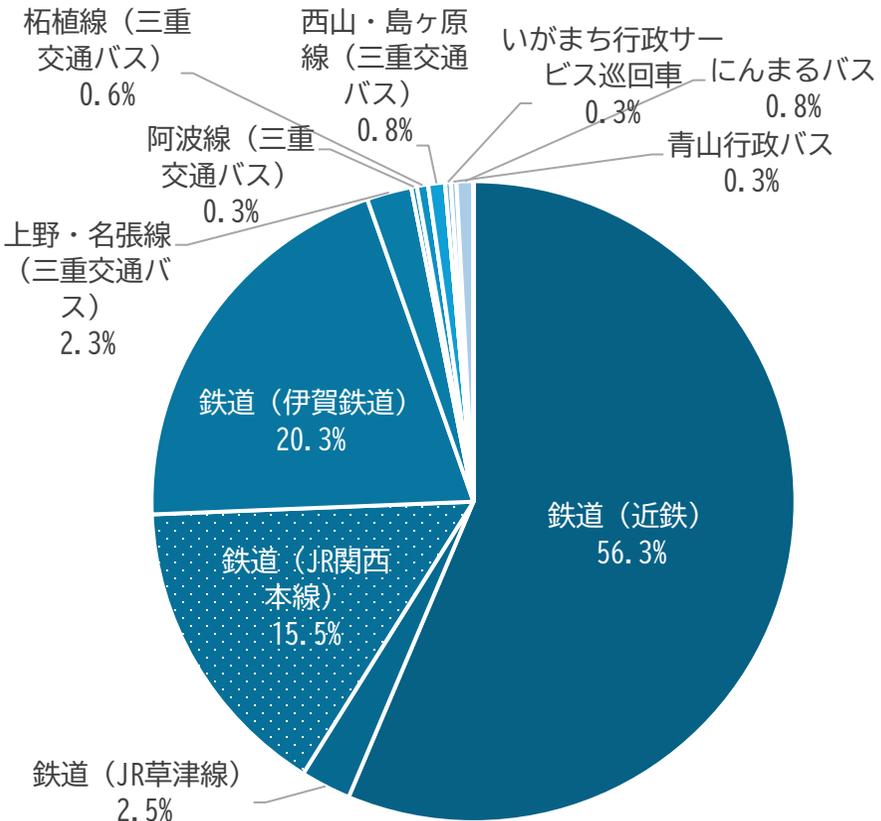
	市全体 N=208	上野地域 N=21
自宅近くで乗降できる予約型の乗合タクシー	23.1%	14.3%
タクシーが一定の条件付きで割引かれるサービス (時間帯限定・市内エリア限定等)	12.5%	4.8%
鉄道や路線バスの定期券購入補助制度	45.7%	33.3%
公共交通利用で買い物に行くと、店でポイントの付与や割引が受けられる	25.0%	23.8%
自家用車に乗せてくれる人にお金を払って相乗りする (地域での助け合い活動など)	9.6%	0.0%
会員同士で特定の車を共同使用する	3.8%	0.0%
運転手無しの自動運転	13.0%	23.8%
複数の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)の検索、 予約、決済を一括で行えるサービス	20.2%	19.0%
安価で移動できる地域主体の交通手段	46.6%	47.6%
その他	1.0%	0.0%

3. アンケートの結果(利用者アンケート)

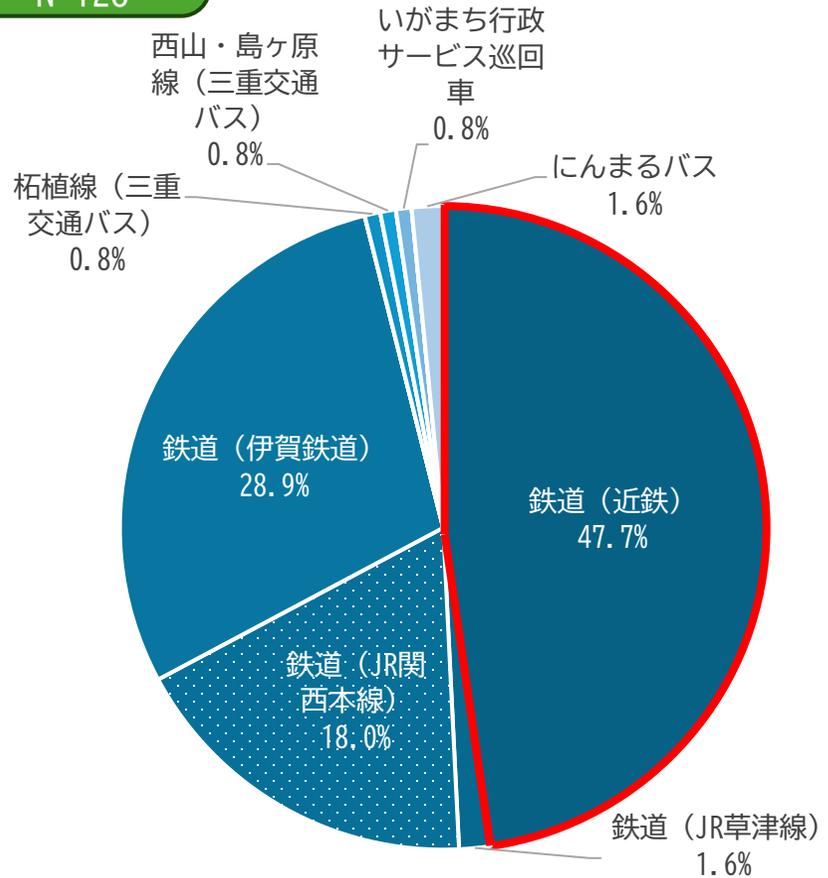
【利用者アンケート】普段最も使う公共交通

- ・ 上野地域において、普段の生活で最も利用する公共交通は、**鉄道(近鉄)**である。
- ・ 市全体と比較すると、**鉄道(近鉄)**を利用する割合が少ない。

市全体
N=353



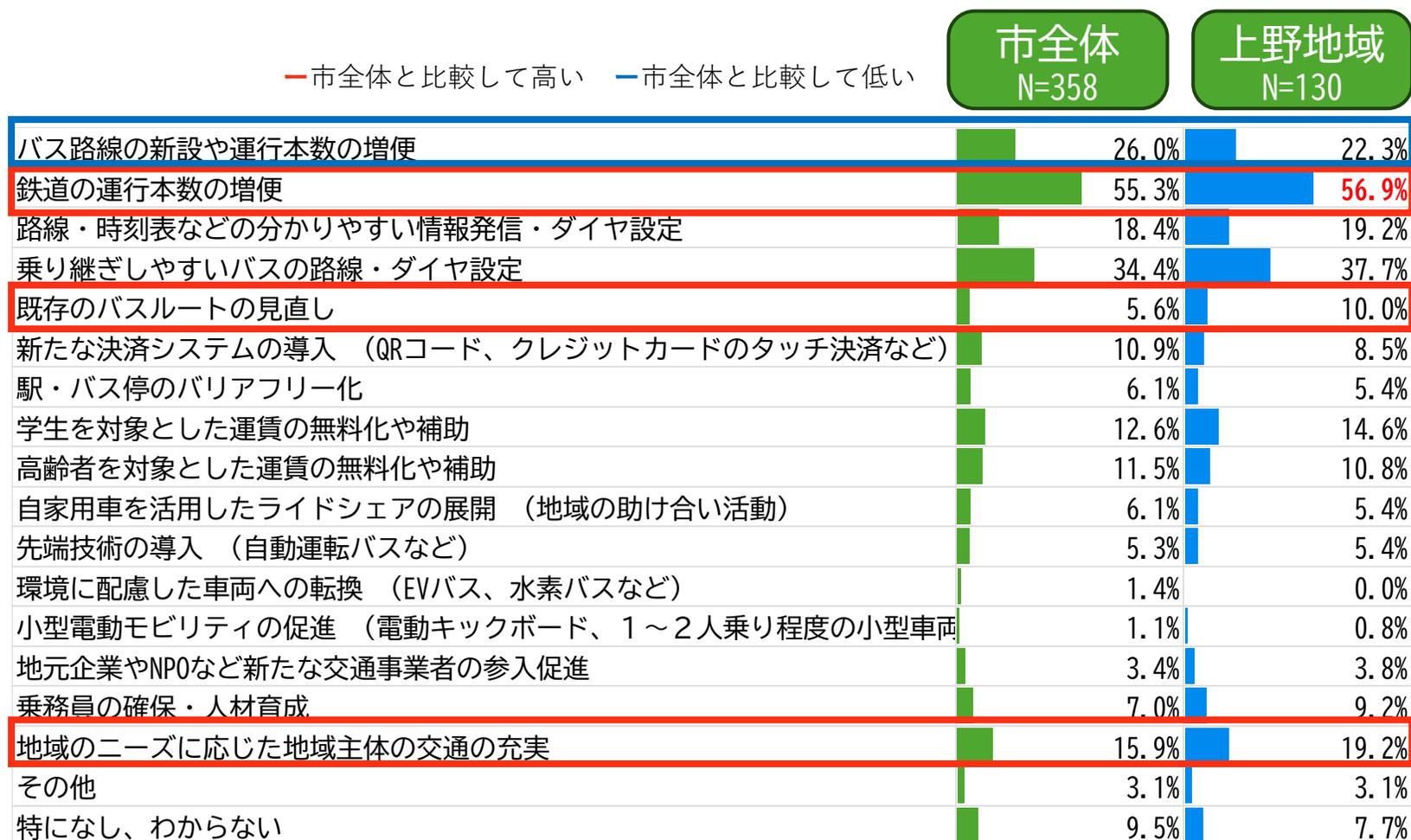
上野地域
N=128



3. アンケートの結果(利用者アンケート)

【利用者アンケート】公共交通の利用促進に向けて重視すべき点(3つまで)

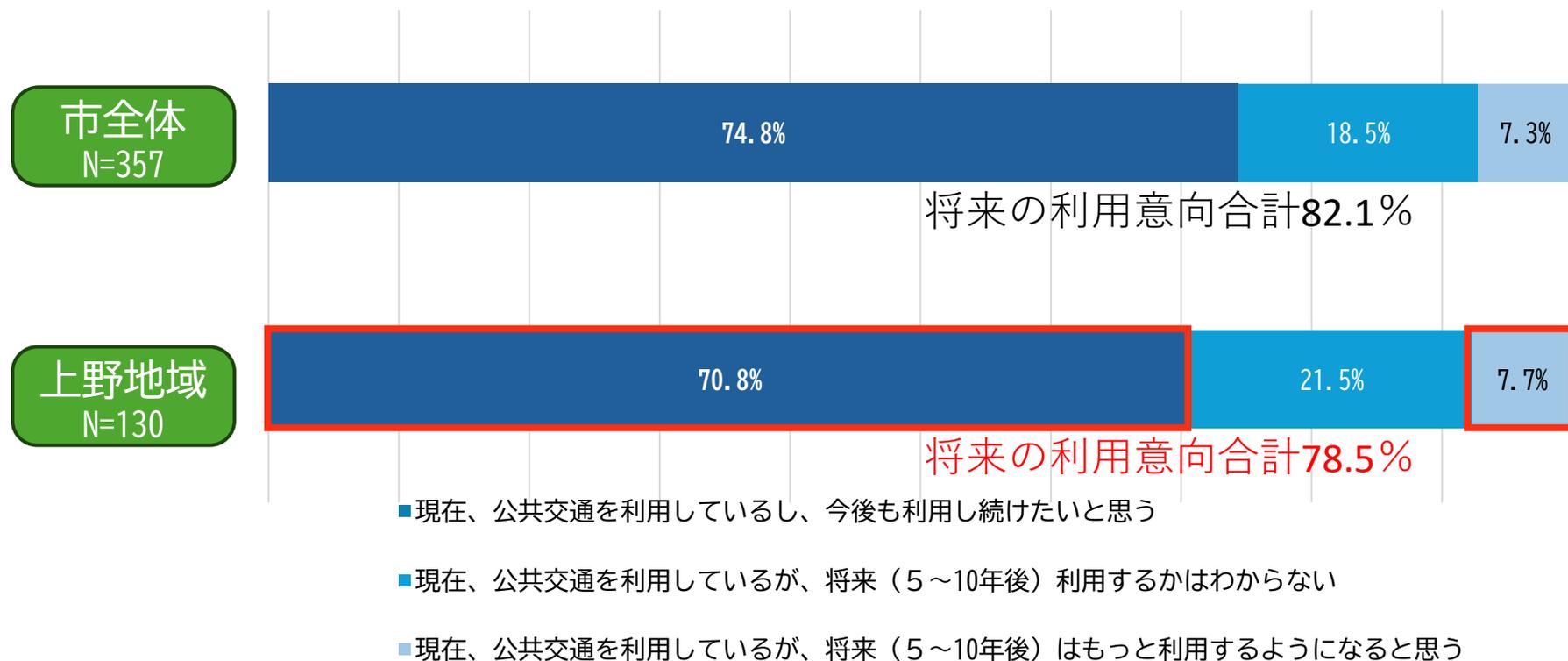
- ・市全体も、上野地域も、最も重視すべき点は、「**鉄道の運行本数の増便**」であった。
- ・市全体と比較して「**既存のバスルートの見直し**」や「**地域のニーズに応じた地域主体の交通の充実**」を重視し、「**バス路線の新設や運行本数の増便**」は重視されていない傾向にある。



3. アンケートの結果(利用者アンケート)

【利用者アンケート】今後の公共交通の利用について

公共交通を今後も利用し続けたいと考えている割合は市全体と比較して若干低い。

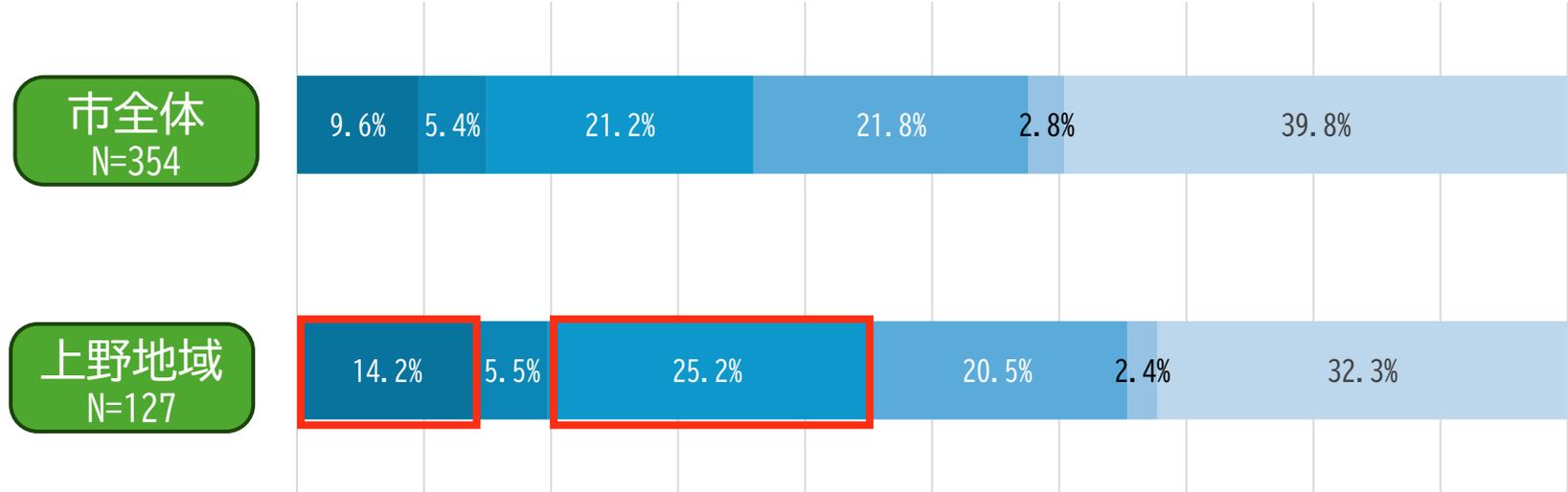


※満足度の質問において、上野地域で、「不満、やや不満」の回答が多い項目は、「乗り継ぎの利便性」（48.1%）が最も多く、「運賃（31.6%）」、「駅、バス停までの利便性（30.4%）」、「駅、バス停までの利便性（30.1%）」の順で多い傾向にある。

3. アンケートの結果(利用者アンケート)

【利用者アンケート】関心のある新たな交通手段

上野地域の利用者は、市全体と比較し、**住民参加型ライドシェア**や**デマンド運行**に関心がある。



- 地域主体の住民参加型ライドシェア (自家用車を活用した相乗り交通サービス)
- カーシェア (会員同士で特定の車を共同使用する)
- デマンド運行 (利用者の呼出しや事前予約に応じて運行されるバスやタクシー)
- 自動運転 (運転手無しの自動運転)
- その他
- 特になし、わからない

3. アンケートの結果(市民アンケート)

【補足(P.8, P.9)】目的とお出かけの関係

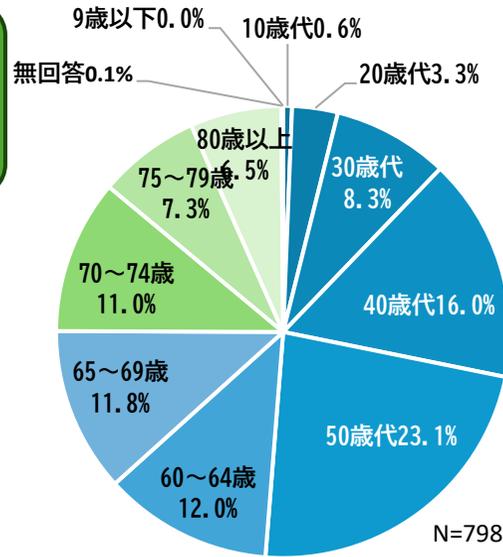
- ・ 上野地域には、通勤・買い物目的で向かう人が多い。

	伊賀市上野地域 (旧上野市)	伊賀市いがまち地域 (旧伊賀町)	伊賀市島ヶ原地域 (旧島ヶ原村)	伊賀市阿山地域 (旧阿山町)	伊賀市大山田地域 (旧大山田村)	伊賀市青山地域 (旧青山町)	名張市	亀山市	津市	滋賀県甲賀市	京都府南山城村	京都府笠置町	奈良県山添村	市外	県外	合計
通勤	157	14	0	8	10	1	15	5	7	2	0		1	1	15	236
通学	1		0				1				0				1	3
出張			0						1		0			1	3	5
買い物	85	3	0	1		1	5		2	1	0				2	100
観光・娯楽	6		0			1	1		1		0	1		1	21	32
通院	10	1	0						2		0				3	16
その他	10		0	1		1			1		0				5	18
合計	269	18	0	10	10	4	22	5	14	3	0	1	1	3	50	410

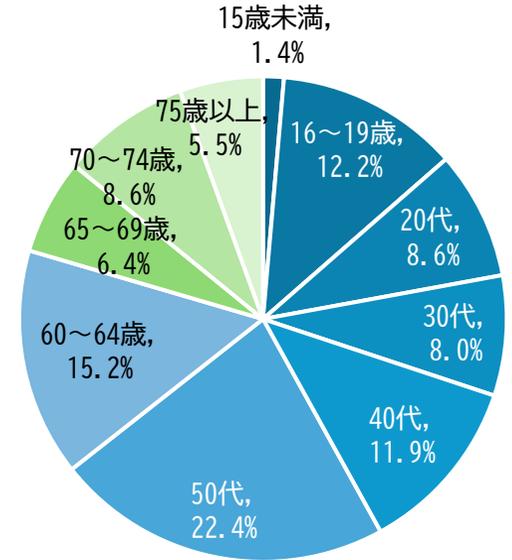
3. アンケートの結果

【補足】回答者の年齢

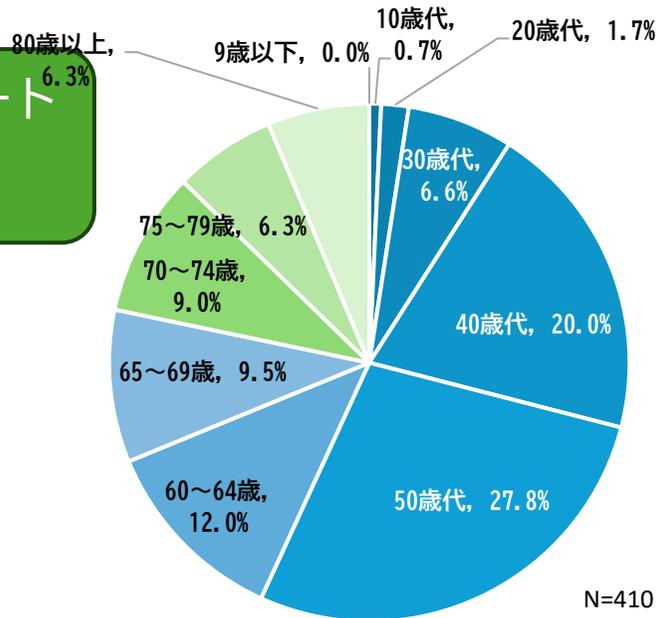
市民アンケート
市全体
N=798



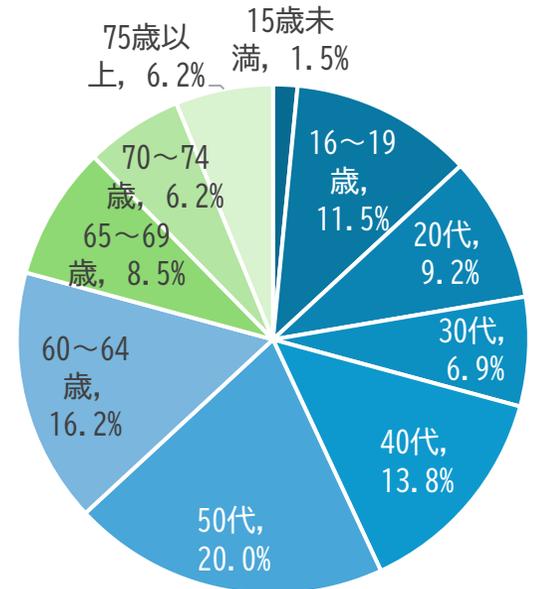
利用者アンケート
市全体
N=362



市民アンケート
上野地域
N=410



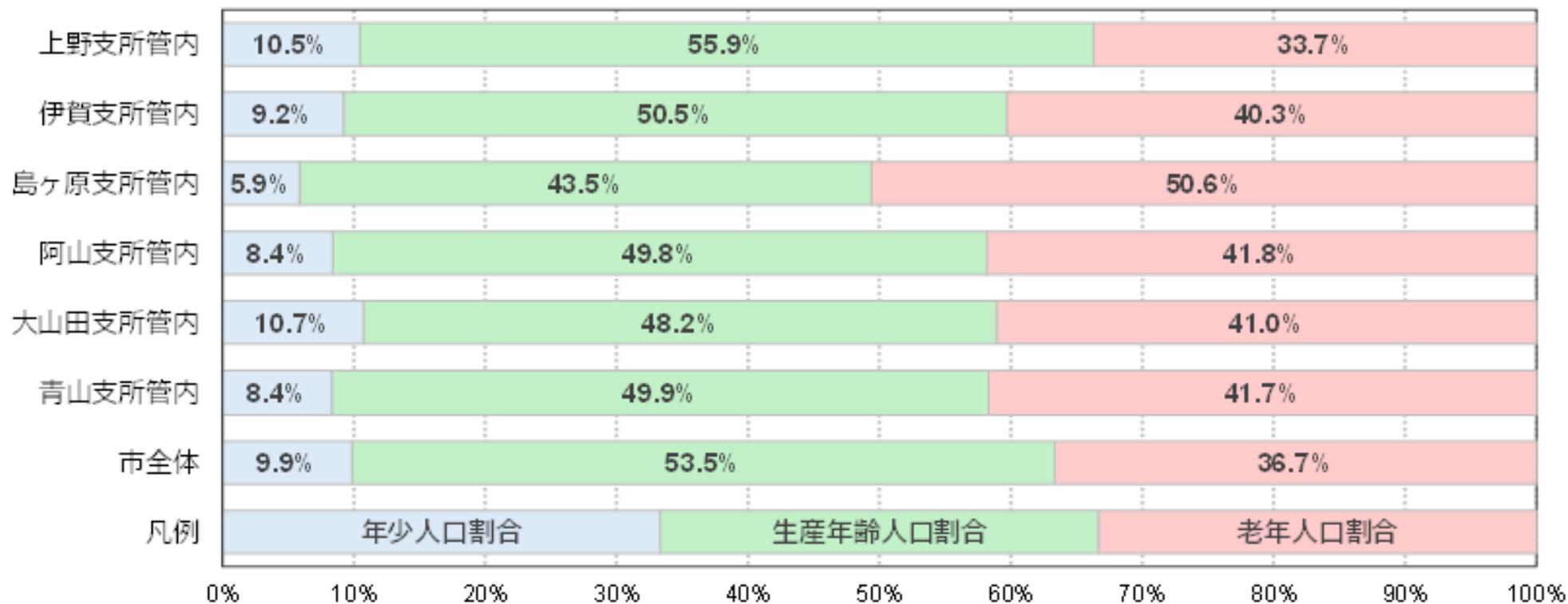
利用者アンケート
上野地域
N=130



N=410

3. アンケートの結果

【補足】地域別高齢化率



(令和7年9月末時点) □※日本人のみ←

資料：住民基本台帳